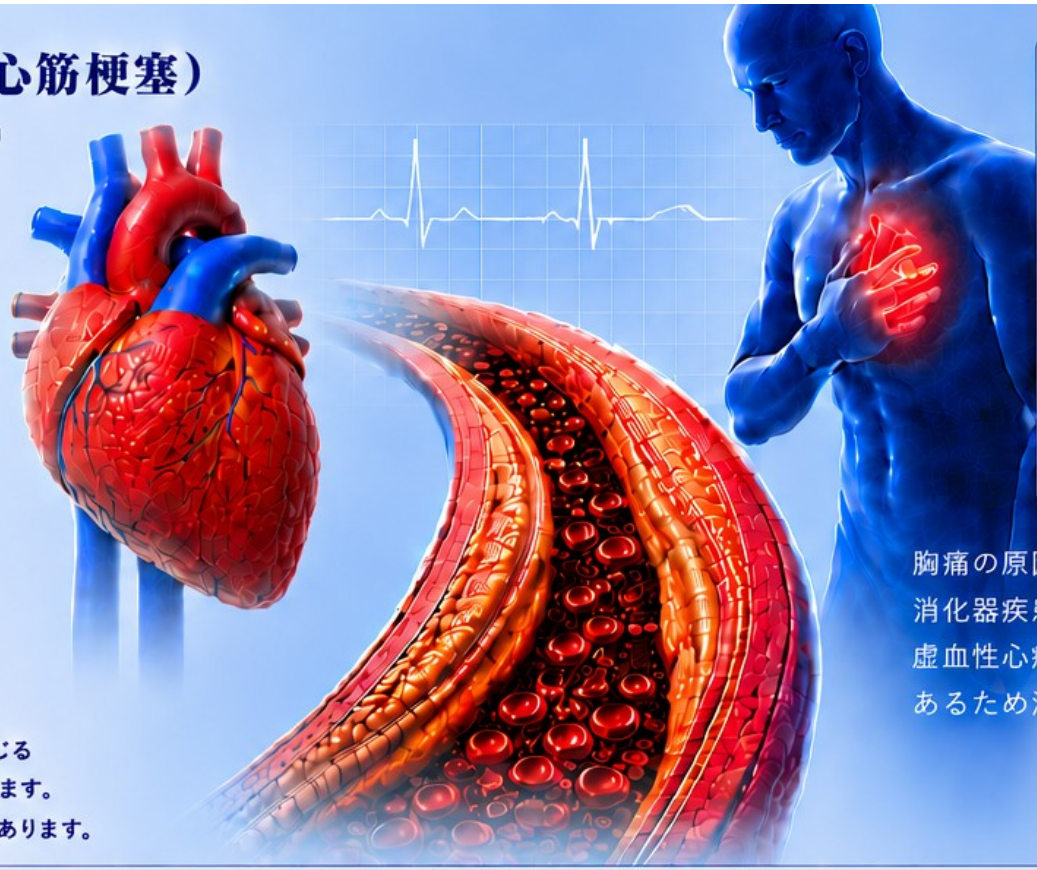
虚血性心疾患（狭心症・心筋梗塞）

虚血性心疾患とは、心臓の筋肉（心筋）に血液を送る冠動脈が狭くなったり詰まったりすることで、心筋への血流が不足し、胸の痛みや息苦しさを引き起こす病気の総称です。主な原因は動脈硬化であり、進行すると心筋梗塞など命に関わる疾患を引き起こすことがあります。

当院では以下のような虚血性心疾患の診療を行っております。

- 労作性狭心症
- 安静時狭心症
- 冠攣縮性狭心症（異型狭心症）
- 微小血管狭心症
- INOCA（虚血非閉塞性冠疾患）
- 急性心筋梗塞
- 陳旧性心筋梗塞

近年では、冠動脈に明らかな狭窄が認められなくても胸痛や心筋虚血を生じる「微小血管狭心症」や「INOCA（虚血非閉塞性冠疾患）」が注目されております。特に女性や比較的若年の方にもみられ、通常の検査では診断が難しいことがあります。



主な症状

- 胸の痛みや圧迫感
- 胸の締め付け感
- 息切れ
- 動悸
- 肩や背中、顎への放散痛
- 冷や汗
- 運動時の胸部不快感

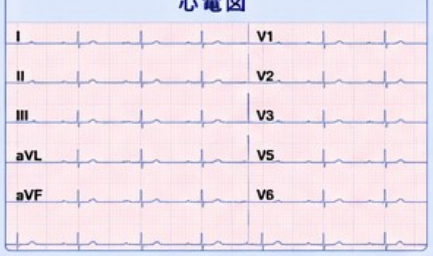
胸痛の原因は心臓だけでなく、肺や消化器疾患などさまざまですが、虚血性心疾患が隠れていることもあるため注意が必要です。

虚血性心疾患に対する当院の取り組み

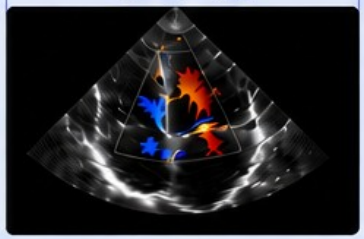
狭心症や心筋梗塞といった虚血性心疾患に対して、当院では早期診断と再発予防に力を入れております。心電図、心エコー検査、胸部レントゲン検査、血液検査などを用いて総合的に評価し、必要に応じて冠動脈CTや心筋シンチグラフィなどの精密検査を専門医療機関と連携して実施いたします。

また、近年注目されている微小血管狭心症やINOCA、虚血非閉塞性冠疾患）、冠攣縮性狭心症など、「検査で異常が見つかりにくい胸痛」に対しても専門的な視点から診療を行っております。

心電図



心エコー検査

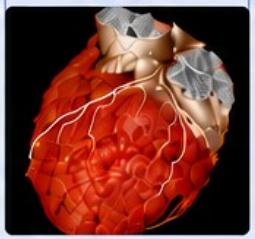


胸部レントゲン検査

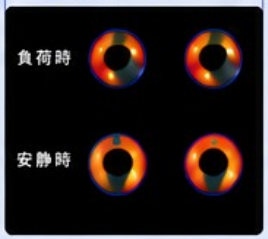
血液検査（異常例）

検査項目	結果	基準値
LDLコレステロール	162 mg/dL ↑	70～139
HDLコレステロール	34 mg/dL ↓	40～96
中性脂肪	215 mg/dL ↑	30～149
HbA1c	7.1％ ↑	4.6～6.2
BNP	186 pg/mL ↑	0～18.4

冠動脈CT



心筋シンチグラフィ（負荷時）



画像はイメージ画像です。

治療の基本

薬物療法に加え、危険因子を総合的に管理することで、動脈硬化の進行を抑制し、再発予防を目指します。

- 薬物療法
- 高血圧の管理
- 脂質異常症の管理
- 糖尿病の管理
- 禁煙指導
- 運動療法
- 食事療法

胸痛や胸部違和感、息切れなどの症状がある方は、お気軽にご相談ください。